

「被献日」 (2月2日・固定祝日) *Presentation of the Lord*

ルカによる福音書2章22節以下にあるとおり、生後40日目に、律法に従い、幼子イエスがマリアとヨセフによってエルサレム神殿にて主に捧げられた出来事を記念する日です。カトリック教会では、「主の奉献の祝日」と呼ばれます。

日本聖公会婦人会は、1926年にこの日を創立記念日と決めました。そして各地方部婦人補助会で記念聖餐式が行われ、その信施金を中央本部に積み立てて「婦人献身者」のために用いることにしました。これが「被献日献金」の始まりです。